



## 里見奨学会から図書購入助成金をいただきました 📖



東京の事務局の方とオンラインで贈呈式を行いました！

里見奨学会から、図書費20万円分をいただきました。里見奨学会事務局の方の多くは、竹田高等学校を卒業された先輩方です。「奨学金を寄付することで地元竹田の学生が勉強をする助けをしたい」という地域や竹田高校生への愛から、毎年、図書費を寄附してくださっています。

いただいた図書費は大切に使用させていただきます。高校生のみなさんは、ぜひ、感謝の気持ちを持って、本を読んでみてください。

## 📖 臥牛祭 文化の部 に登場した本たち！ 📖

- ① 3年 菅祐斗さん 制作ビデオ「<sup>おんしゅう</sup>恩讐をこえて」 に登場した本

### 📖 『汚名 「九大生体解剖事件」の真相』

(東野利夫／著、文藝春秋／発行、1979年)



- ② ビブリオバトルで 2年 毛利文美さん、1年 本田楓さん が紹介した本

### 📖 『公開処刑人森のくまさん』

(堀内公太郎／著、宝島社／発行、2012年)



### 📖 『きらきら眼鏡』

(森沢明夫／著、双葉社／発行、2018年)



- ③ 文芸部の部誌

### 📖 『催日草々 ～文芸部の優雅な日々～ 2021』

(文芸部の優雅な人たち／著、

大分県竹田高等学校教科研究部【文芸】／発行、2021年)



高校生らしい感性の作品や、時代を読み取った作品、心が温かくなるような作品が、たくさん載っていました。入手できなかった人は、ぜひ、図書館に読みに来てください♪ 貸出もできます！

読んでみない？

## 辻村深月さん



### □ 『かがみの孤城』

(辻村深月／著、ポプラ社／発行、2017年)



いじめを受け、学校に行けなくなった「こころ」。ある日、光り始めた鏡を抜けると、不思議な城に繋がっていました。城には、学校に居場所がない子ども達が集められていて、鍵を見つけた者だけ、願いが1つ叶うと言われます。

### □ 『朝が来る』

(辻村深月／著、文藝春秋／発行、2018年)



子どもを授けられない40代の夫婦が、特別養子縁組という手段で男の子を授かります。しかし、突然「子どもを返してください」と電話があり……。家族について、妊娠や出産について、考えさせられる小説です。

### □ 『ツナグ』

(辻村深月／著、新潮社／発行、2010年)



一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれる「使者(ツナグ)」。突然死したアイドルに会いたい女性、亡くなった母親に会いたい息子、死んでしまった親友に会いたい女子高生……。それぞれの再会は、生き残った者に、一体何をもたらすのでしょうか。

## 月を見上げよう。



9月は1年で最も美しいとされる「中秋の名月」が見られる月です。中秋の名月が見られるのは十五夜の夜。今年の十五夜は9月21日だそうです。美しい月と読書で、豊かな時間を過ごしてみませんか？

### □ 『流浪の月』

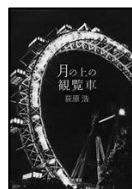
(凧良ゆう／著、東京創元社／発行、2019年)



誘拐事件の被害者だった少女と、犯人として逮捕された青年が、15年後に再会します。名付けようのない「二人の関係」の名前を探していく物語です。広瀬すず、松坂桃李主演で映画化決定。

### □ 『月の上の観覧車』

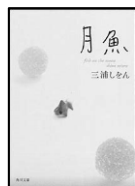
(荻原浩／著、新潮社／発行、2011年)



大切な人を失った人達の物語。心が温かくなったり、切なくなったりするお話が、8つ収録されています。人生について考えながら、ゆっくり、読んでみてほしい1冊です。

### □ 『月魚』

(三浦しをん／著、角川書店／発行、2004年)



古書店『無窮堂』の若き店主とその友人を軸とした小説です。美しく幻想的な雰囲気に浸りながら、古書店の仕事について知ることができます。

### □ 『まひるの月を追いかけて』

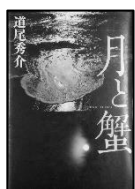
(恩田陸／著、文藝春秋／発行、2003年)



母の違う兄が失踪。兄の恋人に頼まれ、兄を探すため、奈良に行く物語です。古都・奈良を旅しながら、複雑な人間関係が明かされていきます。

### □ 『月と蟹』

(道尾秀介／著、文藝春秋／発行、2010年)



——「世界は大きくて理不尽だから、僕たちは神様を創ることにした」——。主人公の子ども達の心の傷に、不思議と懐かしさを覚えると思います。不穏な雰囲気がたまりません。

図書館にコーナーを設けています。

月にちなんだ本を読み、心涼やかな一時

をお過ごしください♪

